

鳥取砂丘ビジャーセンター新築工事

○建物概要

①構造・規模:木造2階建て(一部半地下)
ラーメン構造

②延床面積:約930m²

③基礎構造:柱状改良の上直接基礎

施工者

①工事名:鳥取砂丘地域ビジャーセンター新築工事(建築) ジューケン・原田JV
鳥取砂丘地域ビジャーセンター新築工事(電気設備) シグマ電気株式会社
鳥取砂丘地域ビジャーセンター新築工事(機械設備) 北陽エンヂニアサービス株式会社
鳥取砂丘地域ビジャーセンター展示工事 株式会社乃村工藝社

②工期 建築工事:平成29年9月~平成30年7月(約10か月)
展示工事:平成30年8月~平成30年10月(約3か月)

③工事費 建築工事:約4億6千万円
展示工事:約2億円

山陰海岸国立公園 鳥取砂丘ビジャーセンターの概要



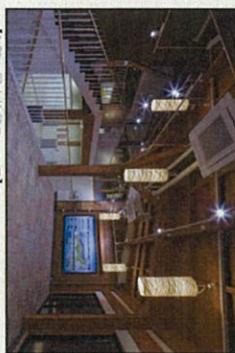
山陰海岸国立公園
鳥取砂丘ビジャーセンター



【外観・南面】



【外観・夜間】



【2階・展示室・映像ミニシアター・すなくら】



【2階・展示室・映像ミニシアター・すなくら】

【概要】

鳥取砂丘ビジャーセンターは、山陰海岸国立公園鳥取砂丘集団施設地区及びその周辺地域の利用の拠点施設として多くの利用者、また、幅広い利用者層が訪れる施設として鳥取砂丘や周辺での自然体験や観光案内の窓口、砂丘の自然、山陰海岸世界ジオパーク等の情報提供機能の他、休憩スペースを備えた施設として整備しました。

また、映像ミニシアター(すなくら)は、シアターに映像を投影する施設で、ドローンなどを駆使して撮影した四季折々の砂丘の映像を体験できる魅力ある施設となっています。

運営には運営者、鳥取県、鳥取市が協力して設立いたしました。

鳥取砂丘ビジャーセンター運営協議会で運営をしていきます。

外観は、山陰地方の宿場町の雰囲気を模した匠匠

となつており、建物の外縁にはその特徴となる仮屋(カ)

ヤ)と呼ばれるひさしを設けて、来訪者に対して、日差しや雨雪から守られた歩行空間を創出しています。

その他、構造材には鳥取県産の杉を用いたCLT(Cross-Laminated-Timber)を使用するなど、木材の利用促進に配慮した施設となっています。

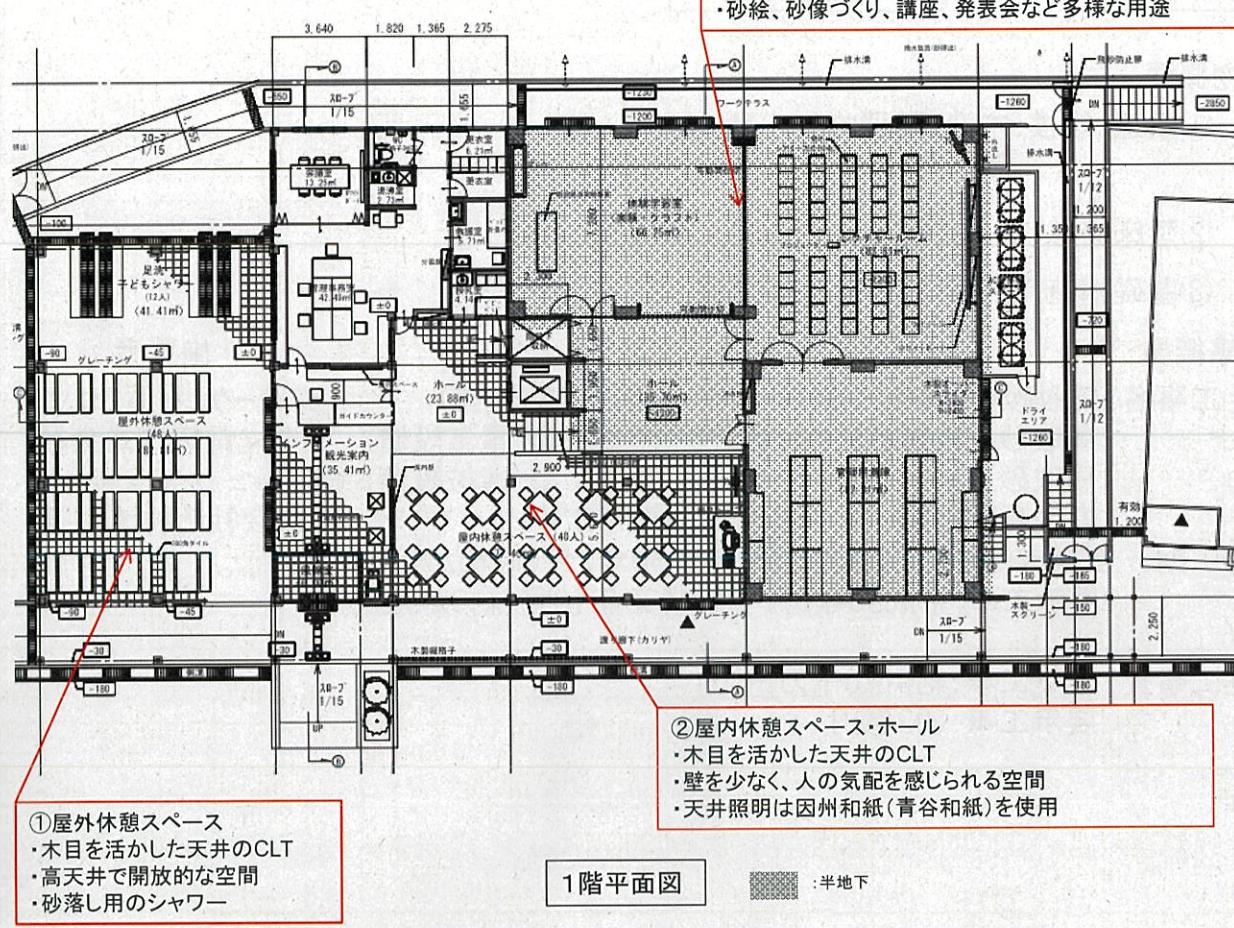
【施設概要】

構造:木造2階建 建築面積 約760m²
延床面積 約930m²

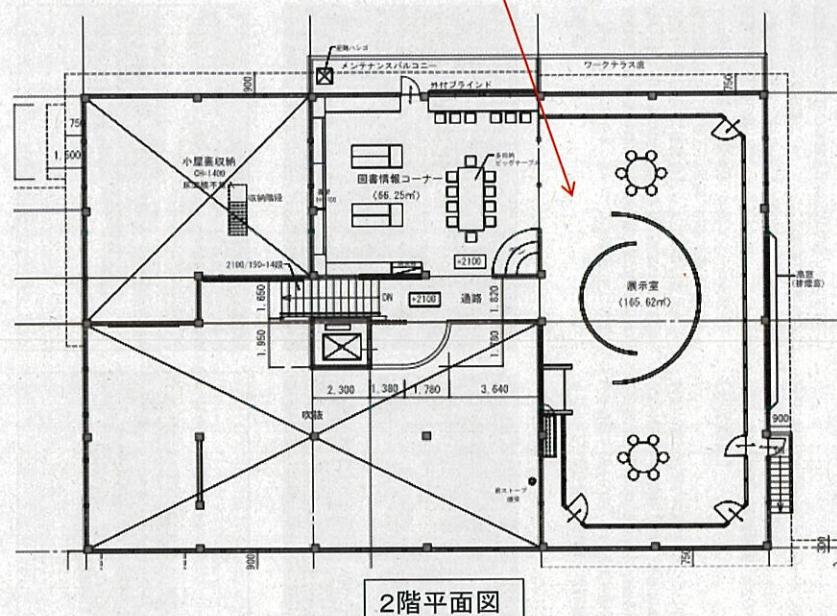
屋内:約120m²屋外休憩スペース、足湯・子どもシャワーホール、風除室、屋内休憩スペース、約30人収容

客室休憩室・授乳室、講室・英語講室・授乳室、2F 約60m² 展示室・映像ミニシアター(すなくら)、学習コーナー

【総事業費】 7億円



3



4

○設計思想(意匠)

- ・ファミリー層を基本的なターゲットにし、必要に応じて団体利用にも対応できる施設
⇒展示室、レクチャールーム、体験学習室等の諸室は多様な利用者、多様な利用形態に応じた可変性を持たせた計画
(音響・映像等の設備、可動間仕切、可動式の什器等)



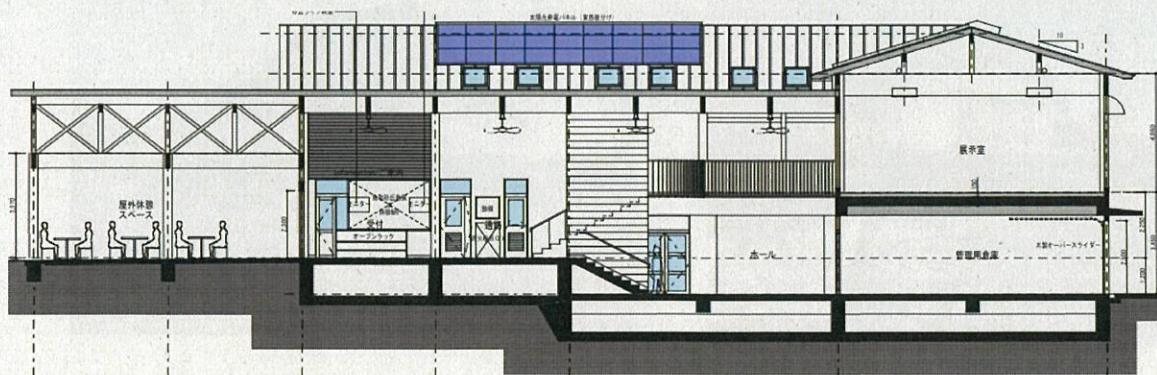
体験学習室



レクチャールーム

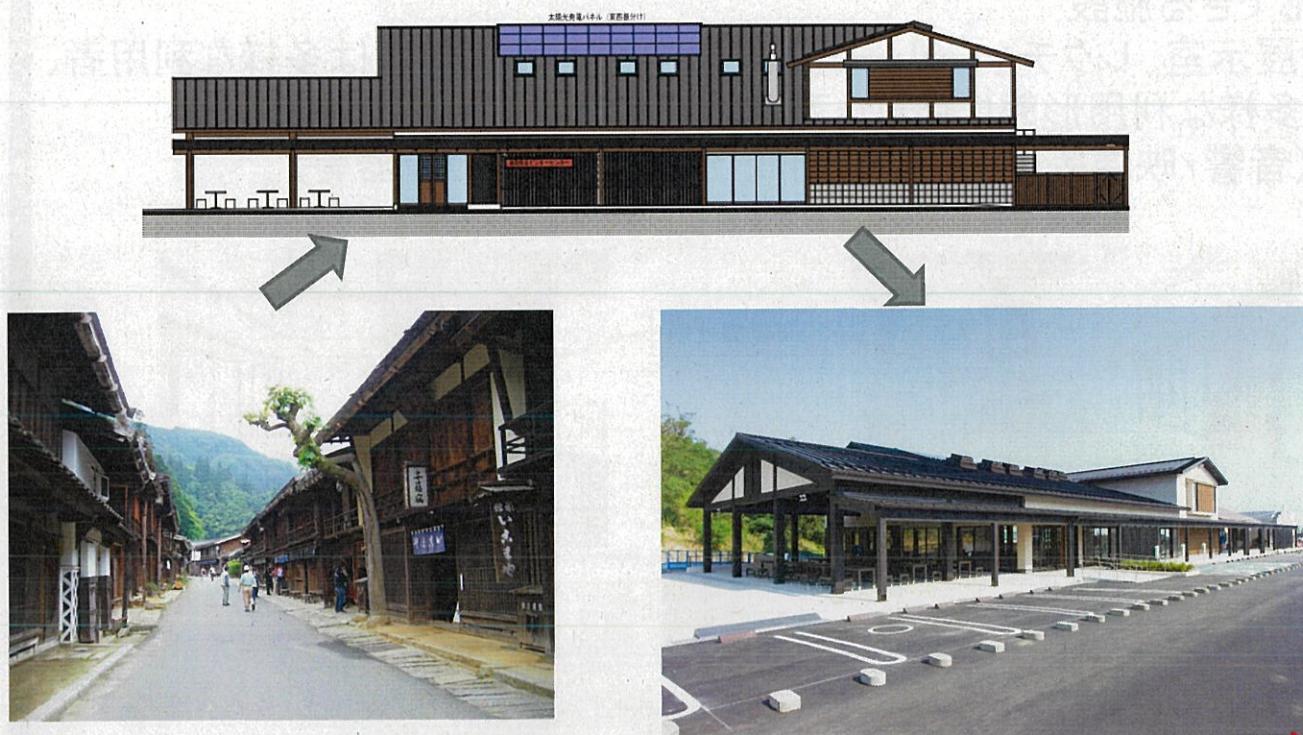
5

- ・砂丘の景観との調和を図るために高さを抑える
⇒敷地の高低差を活かし半地下2階建とし通常の2層構造建築より建物高さを抑えた計画



6

- ・建物外観は砂丘と歴史的に関わりがある
但馬往来の宿場町をイメージ



- ・屋根形状は周辺の自然景観に馴染み、
日本伝統でもある切妻屋根を採用
- ・自然環境に溶け込む自然素材を活かした外観デザイン
(火山灰を素材とした外壁材、杉板張り)
経年変化により風格を醸し出す建物に



○設計思想(構造)

- ・大断面集成材を用いた木造ラーメン構造

・集成材とは

⇒木材の纖維方向を揃え接着させた材

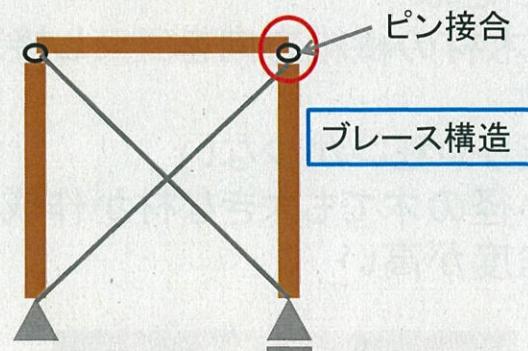
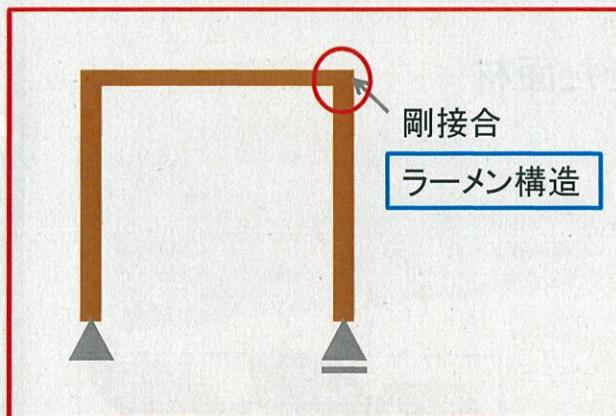
無垢材(普通の木材)に比べ、

- ①品質が安定している
- ②強度が高い
- ③大断面が作成できる 等々



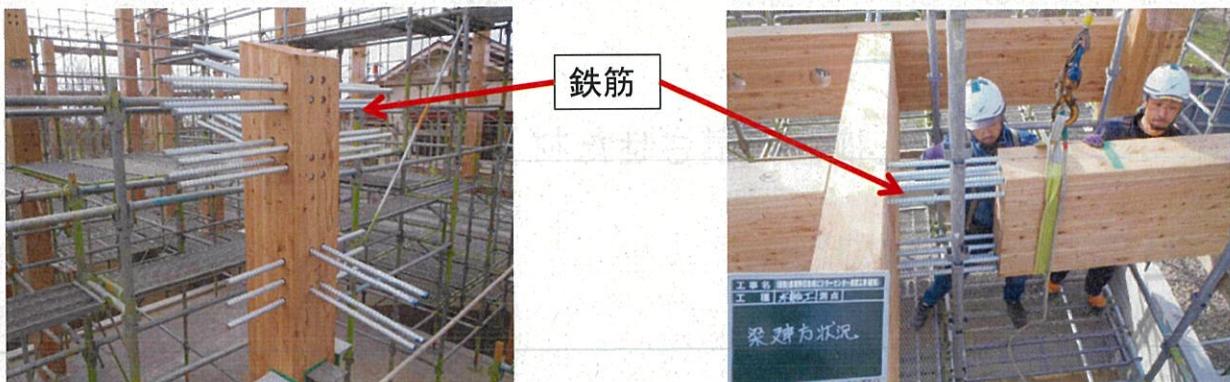
・ラーメン構造とは

⇒柱と梁の接合部を剛接合とし回転が生じない架構形式



- ・ブレース構造と比較し、ブレース(壁)がいらない
⇒大空間や開口部の自由度が高い

- ・ビジャーセンターでは大断面集成材によるラーメン構造とするために異形鉄筋とエポキシ樹脂を用いたサミットHR工法を採用



11

- ・県内産CLT(Cross Laminated Timber)を天井面に使用

・CLTとは

⇒木材の纖維方向を直交し接着させた面材
特徴

- ①反りや狂いが少ない
- ②小径の木でも大きな材が作成可能
- ③強度が高い



12

少し話は逸れます

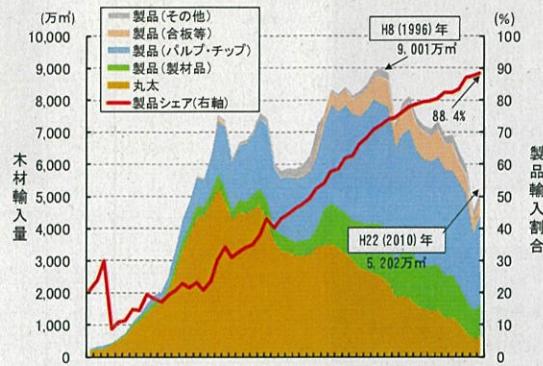
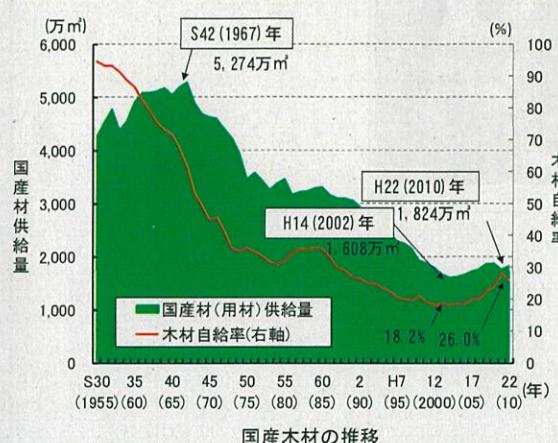
○木造建築物の意義

- ・昨今、国内森林の荒廃が問題
⇒木が痩せ、根が弱くなると

土砂災害の危険性



原因是木材需要の低迷、安価な輸入材、林業従事者の不足等々



13



商業施設や学校施設、オフィスビル等

今まで鉄骨造、RC造の建物を木造に



◎木材利用の促進により林業の持続的・健全な発展

- ・地球温暖化の防止
- ・循環型社会の形成
- ・森林破壊の防止
- ・山村地域の活性化 等々

ちなみにビジターセンターでは約285m³の木材を使用
一般的な住宅約15~20件分相当の木材使用量



14

○施工状況

	<p>撤去工事 解体工事用機械搬入 低騒音型 基準値排出ガス対策型 コベルコ建機(株)</p>		<p>土工事 表面土質養生状況</p>
	<p>撤去工事 解体工事用機械搬入 低騒音型 基準値排出ガス対策型 コベルコ建機(株)</p>		<p>土工事 表面土質養生状況</p>
	<p>撤去工事 既設アスファルト撤去状況</p>		

15

	<p>柱状改良工事 No. 76(本筋棒) 打設完了</p>		<p>土工事 I-N通9 柱状改良杭 F2 出来形検測 Φ800×4本 1,600×1,600</p>
	<p>柱状改良工事 No. 72(本筋棒) 杭芯セット状況</p>		<p>土工事 I-N通9 柱状改良杭 F2 出来形検測 同上接写</p>
	<p>柱状改良工事 No. 72(本筋棒) 混合搅拌状況</p>		

16

	コンクリート工事 上部土間 スラブ打設前洗浄状況
	コンクリート工事 上部土間 同上接写
	コンクリート工事 EV(1～2F) コンクリート打設状況
	コンクリート工事 上部基礎 同上接写

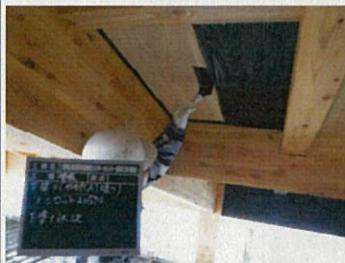
	大断面工事 本脚棒 柱建方施工状況 2018年2月23日 (建方開始日～2日目)
	大断面工事 本脚棒 柱建方施工状況(2日目)
	大断面工事 本脚棒 同上接写
	木工事 大引き受金物留め付け状況
	木工事 同上接写
	木工事 大引き金物専用孔 ZN-65 (200本)

	<p>屋根工事 下葺き材 防湿・防水不織布貼り付け施工状況</p>
	<p>屋根工事 下葺き材 透湿・防水不織布シート 改質アスファルトルーフィング張り付け状況</p>

19

	<p>アルミニウム製建具工事 建具取付固定前 アンカーアク付間隔確認 WAW-5 端方向端部: ≈100mm程度 目盛100mm確認</p>
	<p>アルミニウム製建具工事 建具取付固定前 アンカーアク付間隔確認 WAW-5 下方方向端部: ≈100mm程度 目盛100mm確認</p>
	<p>アルミニウム製建具工事 建具取付固定前 アンカーアク付間隔確認 WAW-5 中間部: ≈500mm程度</p>
	<p>木工事 2階床下地 構造用合板 (t=24×910×1,820) 釘留め付け状況 使用釘 CN75(ブルー)</p>
	<p>木工事 2階床下地 同上接写</p>
	<p>木工事 2階床下地 同上接写</p>

20

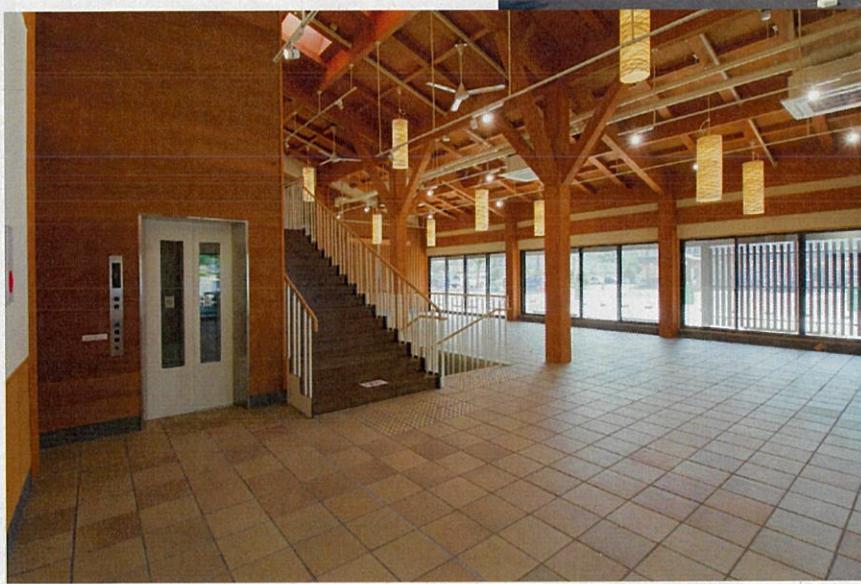
	左官工事 同上作業状況接写		塗装工事 WP塗り(3層パネル) 素地ごしらえ(B種) 工程(1・2) (既製品)健全な下地のため省略 工程(3) 研磨底づり施工状況(#100～#300)
	左官工事 同上接写		塗装工事 WP塗り(3層パネル) 外部(A)塗り(B種) 工程(1) 下塗り ノンロット205N 施工状況
	左官工事 西面外壁 外壁仕上げ 上塗り施工完了 施工日 5月10日		塗装工事 WP塗り(3層パネル) 外部(A)塗り(B種) 工程(2) 上塗り ノンロット205N 施工状況

	タイル工事 体験学習室 床タイル下地(敷モルタル) 下地水洗い洗浄状況		タイル工事 体験学習室 床タイル張り 接着剤塗付施工状況 NSタイルセメントT-2使用
	タイル工事 体験学習室 床タイル下地 敷モルタル塗付施工状況		タイル工事 体験学習室 床タイル張付け施工状況
			タイル工事 同上接写



23

完



成

24